



#worldipday

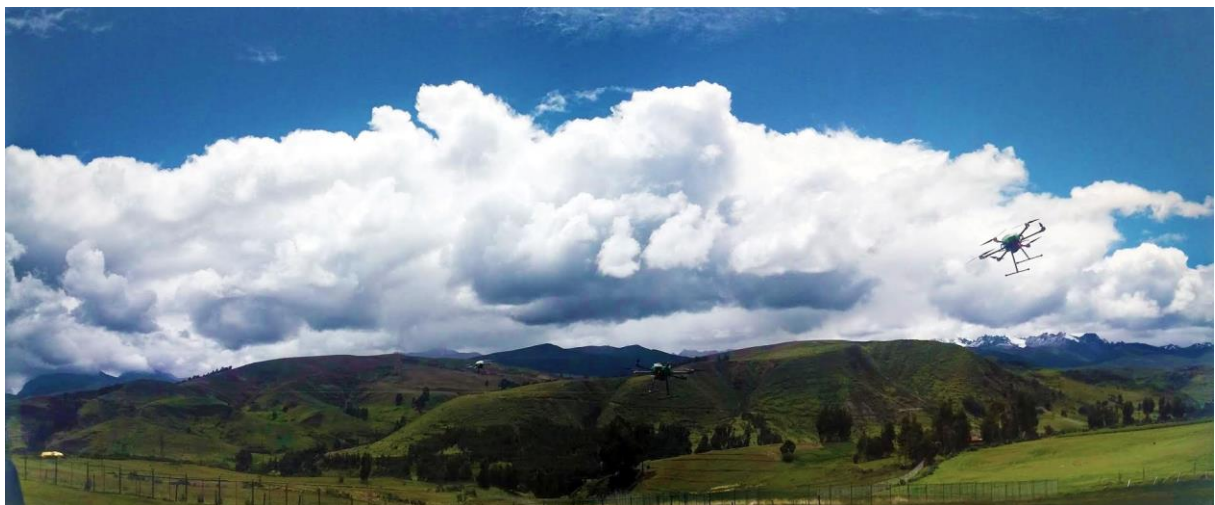
## 鉱業による大気汚染への取り組み

大気汚染は地球規模で起きている環境問題で、健康を侵害する主なリスク要因です。大気汚染により、毎年、何百万人もの方が死亡しています。[大気汚染による死亡率](#)は、低中所得国で最も高いとされています。

近年、採掘作業は改良されてきましたが、採掘活動は環境に以下を含む数々の悪影響を及ぼしています。：

- 地下水および地上水供給の汚染
- 生物の多様性の損失
- 大気汚染（人間の健康に有害な微粉塵粒子の放出）

ペルーの新興企業、[qAIRa](#) は、ドローンおよび検知テクノロジーを使用して、国家の採掘作業に関連している汚染を含む、大気汚染に取り組んでいます。ペルーは、銅、亜鉛、やその他多くの鉱物の世界でも有数の産出国の一つです。



“私たちは、いつでもどこでも大気質を継続的に監視することで世界的な汚染問題に取り組んでいます。”

(写真: qAIRa 提供)



## 企業について：

qAIRa は、2015年にペルー・カトリカ大学（PUCP）の研究生だった Mónica Abarca と彼女の同僚、Carlos Saito、Francisco Cuéllar、Javier Calvo-Pérez によって創立されました。

- qAIRa はビッグデータ分析およびロボット工学を利用して、世界地図上で大気質をデジタル化し、その位置を捉えています。
- 当社のドローンが広範囲を高高度で飛び、大気質のデータを収集することで、世界の汚染地図を作成することを可能にしています。これにより、企業、特に鉱業会社は彼らの作業による影響を監視し、環境フットプリントを改善することができます。
- qAIRa はまた、都市部の汚染を監視するために低費用の固定大気質モジュールを使用しています。



“qAIRa では、大気質の情報をデジタル化および民主化したいと考えています。当社の目標は、環境に有利な変化のエージェントとなるために必要なツールを全ての人に提供することです。” (写真: qAIRa 提供)

qAIRa は 2014 年と 2016 年にペルーの知財庁、INDECOPI にて一般の特許を出願しました。

“知的所有権は当社のテクノロジーに付加価値を与え、  
当社の事業成長を支えています。”



#worldipday

鉱業は大気質に対するオペレーションの影響を監視する qAIRa のテクノロジーに大きな関心を寄せています。また、当社のテクノロジーは、石油、ガス、農業、電気など、大気汚染が課題となっているその他のセクターにも適用できます。



写真: qAIRa 提供